

こんにちは、熊本県文化課です。

熊本県文化課では、今年5月から宮園A遺跡発掘調査(第2次)を実施しています。発掘調査期間中は、いろいろとご迷惑をおかけしますが、益城町が歩んできた歴史を紐解くため、精一杯頑張っておりますので、地域のみなさまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

この「宮園A遺跡通信」では、現在実施中の発掘調査成果をいち早くみなさんにお伝えしていきたいと考えています。

### 宮園A遺跡

所在地：益城町宮園・木山ほか  
時代：弥生・古代  
備考：令和元年度に役場跡地で初めて本格的に実施された発掘調査では弥生時代中期の甕棺墓が13基確認されました。

### なぜ、発掘調査しているの？

平成28年熊本地震で大きな被害を受けた益城町では、地震からの復旧・復興を目指し様々な事業が実施されています。

今回の発掘調査は、益城中央被災市街地復興土地区画整理事業に伴って実施しているもので、調査完了後、調査地は町民の方々の生活に欠かせない道路として生まれ変わる予定です。



調査期間：令和2年5月～令和3年1月(予定)

※事業計画・進捗によっては変更になる可能性があります。

調査面積：635㎡

調査主体：熊本県教育庁文化課

### なにか出てきたの？調査区①



今日の夕飯は?? 竪穴建物に造りつけられたカマド

調査区①では、竪穴建物3基を確認しました。3基中2基の竪穴建物には建物の東側にカマドが造りつけられていました。建物の中にけむりが充满しないようにするため、カマドは煙を外に逃がすような造りになっていました。

建物の大きさなどから9世紀ごろのものと考えています。

その他、調査区①では掘立柱建物2棟、柵列状遺構1基を確認しました。

### 今後の予定

現在、調査区①の調査を完了し、調査区②の調査を実施しています。調査の進捗や天気にもよりますが、調査区②の調査も7月中をメドに完了する予定です。

現場にお越しただければ、いつでも現場の案内をいたします。

ぜひ、お気軽にお声掛けください。



※土曜・日曜・祝日現場作業はお休みです。

※調査現場には多くの危険が潜んでいます。現場にお越しの際は、汚れてもいい格好、動きやすい格好でお越しください。また、ソーシャルディスタンスをとるなどの新型コロナウイルス感染症対策、熱中症対策にも十分に注意してください。

※ご不明な点は熊本県文化課文化財調査班(096-333-2706、担当：木庭・呑田)までお問合せください。